

哲学カフェ (Café Philo) @ 名古屋 2013

シリーズ 「経済を問い直す」

## 第五回 会計/複式簿記 とは？

現代経済は信用のネットワークから成っています。経済活動には説明責任（アカウンタビリティ）がともなう、という規範原理が、この事実を象徴しています。経済主体は、求められれば他者に対して資産状態や負債状態などを開示し、自らの経済的責任と権利を明確に示さなくてはならない、ということです。会計（アカウンティング）とは、広い意味では、この説明責任を果すことと言えそうです。そしてそのための基礎技術が簿記、特に複式簿記だ、と言えそうです。

経済という信用のネットワークがグローバル規模で成立可能になっている要因のひとつは、この基礎技術が全世界でほぼ共有されているからです。これにより、経済的責任・権利のあり方の枠組みが、グローバルに標準化されているからグローバル経済が成立する、ということです。

このような考え方を、皆で吟味して見ませんか？冒頭で複式簿記の特徴を簡単に説明しますので、簿記の予備知識はなくても大丈夫です。もちろん、経済や会計・簿記についての専門知識をお持ちの方も、ぜひご来場のうえ、この複式簿記理解をご批判ください。

お待ちしております。

### 哲学カフェとは？

カフェを会場とし、ドリンク代のみで自由に対話に参加できます。「進行役」は、参加者の議論を促すガイドの役割を担います。

1992年にフランスで始まった哲学カフェは、現在、日本各地で広がりを見せ、「Café Philo (カフェフィロ)」はその推進のため組織されました。

本シリーズのこれまで

- 第一回（哲学カフェ）  
「お金」とは何か？
- 第二回（書評カフェ）  
『評価と贈与の経済学』  
（岡田斗司夫・内田樹共著）
- 第三回（書評カフェ）  
『経済の文明史』  
（カール・ポランニー著）
- 第四回（哲学カフェ）  
「市場」とは何か？

日時： 2013年8月31日(土) 10:00 ~ 11:30 (am)  
場所： カフェティグレ伏見店  
名古屋市中区錦1丁目10-11、ユーキホテル1階  
(地下鉄伏見駅10番出口より徒歩1分)  
進行役： 安田清一郎  
主催： カフェフィロ (cafephilo.jp) (@cafephilo.jp)  
問い合わせ： info@cafephilo.jp (三浦)